

## ★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 村松 純 副委員長 和田山 正  
幹事 廣友雅徳・太田隆博 幹事補佐 八木秀樹

日時 7月25日(木) 14:00~17:05  
26日(金) 10:30~14:20

会場 NATULUCK 飯田橋東口駅前店 4F 大会議室 A (千代田区飯田橋 4-8-6 日産ビル. JR 中央/総武線: 飯田橋駅 (東口) から徒歩 2 分. <https://www.natuluck.com/kanto/tokyo/iidabashi/NATULUCK%E9%A3%AF%E7%94%B0%E6%A9%8B%E6%9D%B1%E5%8F%A3%20%E9%A7%85%E5%89%8D%E5%BA%97%204%E9%9A%8E%E5%A4%A7%E4%BC%9A%E8%AD%B0%E5%AE%A4A/> 細谷 剛 (東京理科大))

議題 フレッシュマンセッション, 一般

25日 IT1 フレッシュマン

1. ESR を用いた量子論理ゲートの計算時間の比較について ○前林要壱・渡邊 昇 (東京理科大)
2. クラスタ説明変数と回帰説明変数により表現された線形回帰モデルにおけるバイズ最適な予測の近似手法  
○村山春香・齋藤翔太・中原悠太・松嶋敏泰 (早大)
3. 決定木モデルにおける集団学習法の考えを用いたバイズ最適な分類の近似アルゴリズム  
○土橋那央・齋藤翔太・松嶋敏泰 (早大)

IT2 フレッシュマン・一般

4. レート・遅延理論に関する基礎的検討 ○大橋輝路・西新幹彦 (信州大)
5. 無線 LAN における SNR とユーザ数を考慮した通信路選択のメトリックに関する検討  
○奥立大雅・岡 育生・阿多信吾 (阪市大)
6. CSMA/CA におけるバックオフ凍結を考慮したバックオフ時間の確率分布  
○佐本紘希・岡 育生・阿多信吾 (阪市大)
7. 正規化された f-ダイバージェンスに基づく Resolvability と固定長情報源符号化 野村 亮 (早大)

26日午前 IT3 一般

1. f 分離可能 Bregman 歪み尺度における推定方程式の不偏性と推定量の性質  
○小林真佐大・渡辺一帆 (豊橋技科大)
2. 複素非線形逆問題のための Complex-field TISTA ○高邊賢史・和田山 正 (名工大)
3. Rate-1 Convolutional Codes for Fading Channels Tatsumi Konishi (Aichi Inst. of Tech.)

26日午後 IT4 招待講演 (13:30~)

4. [招待講演] 情報源符号化における情報と次元 川端 勉 (電通大)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

☆IT 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

9月6日(金) 日本文理大湯布院研修所 [未定] テーマ: 誤り訂正符号, 一般 (「誤り訂正符号のワークショップ」と併催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

IT 研究会幹事, 幹事補佐

E-mail: it-sec@mail.ieice.org